

図書だより

平成29年度第14号

10月16日(月)発行

五所川原農林高校図書委員会

題字は委員長の山中萌々香さん

最近すっかり秋らしくなり、夜が長く感じられませんか？

中国の文人の詩に「燈火(とうか) 親しむべし」という一節があります。

「秋の夜は涼しさが気持ち良く、あかり(灯光)で読書をするにはもってこい」という意味です。

脳の活動にとっても秋の気温は最適。読書や勉強に集中してみましよう！



【 新刊案内 】

書籍名	著者名	出版社	内容
古生物たちのふしぎな世界	土屋健	講談社	恐竜時代より遙か昔、地球上には想像を超える別世界が広がっていた！
完全図解周期表	高嶋秀行	ニュートンプレス	各元素の基礎データ、細かい情報が満載。コラムも充実し実用性が高い一冊！
心が叫びたがってるんだ	豊田美加	小学館	「言葉は人を傷つける」なにげなく口にした言葉で家族がバラバラに… 秩父を舞台に感動の青春ストーリー！話題の映画化！

泣き童子	宮部みゆき	文藝春秋	ふしぎな話が語る者、聞く者の心をゆっくりと解いてゆく… 大人気三島屋シリーズ！
認知症とともに生きる私	クリスティーン フライデン	大月書店	「私たちは、“なにもわからなくなった人”ではありません」本人の発言で認知症の偏見を打ち破った20年の記録！
スノーデン日本への警告	エドワード スノーデン	集英社	共謀罪は必要か？世界を震撼させた元情報局員が解説する超監視社会の脅威！
鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ	川上和人	新潮社	出張先は火山にジャングル、無人島!? 鳥類学者に必要なのは一に体力、二に体力!?
14歳からの天文学	福江純	日本評論社	著者の中学時代のエピソード、SFと脱線しながら、天文・宇宙の世界に誘います！
J Aに何が できるのか	奥野長衛	新潮社	組合員数1000万を超える巨大組織に鋭く切り込む！
花卉園芸学の基礎	腰岡政二	農文協	先端研究も盛込んで、生理から育種、栽培技術まできちんと解説。栽培の基礎としても最適！
作物学の基礎I	後藤雄佐	農文協	食用作物の来歴、形態、特質、栽培方法や利用について解説。特にイネを中心に詳しく説明。
果樹園芸学の基礎	伴野潔	農文協	品質のよい果実の多収を目標に、生育と生理現象、生理・生態と栽培技術との相互の関係などが基礎的に学べる入門書
野菜園芸学の基礎	篠原温	農文協	生育生理から栽培や環境管理の基礎、先端研究まで、カラー写真や図版と読みやすい文章で解説。

世界の見方が変わる50の概念	斎藤孝	草思社	使える専門用語、各種理論…世界をどう解釈し、現実でどう役立てるか！
何者	朝井リョウ	新潮社	就活のため同居人や留学帰りの仲間と集まるが…だが、SNSや面接の言葉の奥の本音や自意識が、彼らの関係を次第に変えて…直木賞受賞作！
素敵な日本人	東野圭吾	光文社	毎日寝る前に一編。極上の短編ミステリーをどうぞ！
とるとだす	畠中恵	新潮社	大人気「しゃばけ」シリーズ第16弾！
木漏れ日に泳ぐ魚	恩田陸	文藝春秋	“最後の夜”に始まった心理戦。かつての恋人は殺人犯なのか？本屋大賞&直木賞W受賞！
発達障害	岩波明	文藝春秋	他人の気持ちがわからない、同じ失敗を繰り返す…誤解されやすい「あの人」を知るために！
カラスと人の巣づくり協定	後藤三千代	築地書館	巣を減らすには、「撤去」ではなく「設置」が鍵だった！生態研究を通してカラスと人が共生するやさしい社会を作り出す画期的方法！
生命史図譜	土屋健	技術評論社	古代ミステリーシリーズ集成版の一冊！6億年に渡る時の流れを、生物たちの進化で感じられる！
しんかのお話365日	土屋健	技術評論社	古生物たちのふしぎやワクワクを、365のお話でつづって！
「地域の食」を守り育てる	谷口吉光	無明舎出版	ローカルフードの可能性を追い求めた市民運動の物語、食の力で人と人をつなぐ！

世界を動かす巨人たち	池上彰	集英社	歴史を動かす「個人」から現代世界を読み解く人気シリーズ！
事例に学ぶこれからの集落営農	農文協	農文協	失敗体験も含めた経営改善、リーダーの世代交代・後継者育成 など
あて字の日本語史	田島優	風媒社	いつ、どのようにして誕生？「あて字」の歴史の変遷を辿った初めての通史！
靖国への帰還	内田康夫	単行本	時空を超えて飛来した“英霊”が、私たちの心に問いかける靖国神社の存在とは！
新装版 漂泊の楽人	内田康夫	講談社文庫	流浪の芸に身をやつした男と哀しき怨念の末路…浅見執念の追求が暴く巨額詐欺と殺人の真実！
萩殺人事件	内田康夫	光文社文庫	浅見光彦と親友が“世界遺産”の都市を揺るがす深い闇に挑む！
八月十四日夜の殺人	西村京太郎	実業之日本社文庫	連続殺人の謎を解く鍵は終戦記念日に!?歴史の闇に十津川警部が挑む！

～ お知らせ ～



『本はあった場所へ返しましょう！』

これはとても大切な“図書館のルール”です。
みんなで気持ちよく図書館を利用しましょう！